



Shine【少人数の良さを生かす。生徒がきらり輝く教育】  
Area【地域の人や自然を生かす。地域に根ざした学校】  
Never give up【ひたむきに努力する教師と生徒】

### 卒業観

校長 舞田 裕二

卒業式が待つ3月は、別れ（これまで過ごした特別な時間への感謝）、門出（希望が待ち受ける未来への第一歩）などの色々な思いが交錯します。儀式的な行事は、学校在籍の時期だけでなく一生の内でも特別な瞬間です。始まりと終わりの必然、出会いの偶然が一生続く場合があれば、二度と会えないこともあります。

最近の卒業式では、文語的な表現が分かりにくい、合わないなどの理由からか「仰げば尊し」を歌わなくなりました。教師へ、友人へ、学び舎への思い、「感謝」の気持ちという見方では、今の卒業式で歌われる歌とテーマは同じです。また、各界で活躍する著名人たちが小中学校時代に書いた文集内容の「自分の夢を叶え、お世話になった人々に〇〇で恩返しをしたい。」もこのテーマと同じで、卒業式にこれらの思いを重ねると、卒業する側、送る側もこれから精一杯の努力で夢を実現していく決意が深くなる気がします。

改めて「仰げば尊し」を見てみると、「教への庭にも早幾年」「思えばいととしこの年月」「いざ分かれめ」「互いに睦みし」「日頃の恩」「やよ忘るな」「朝夕慣れにし学びの窓」「螢の灯、積む白雪」「身を立て、名をあげ」など、あつという間に過ぎ去った年月、新たな一步を踏み出す決意、別れがたい、螢雪の功、少年老いや早く学成難しなど、常に「感謝」の気持ちを持ち、忘れずに感じる心や力を高める、そんな思いが卒業式にマッチしています。

さて、「若いうちの苦勞は買ってでもせよ」という格言があります。これは色々な課題を解決する力（見通し、手段、手法など）を身に付けることを意味しているようです。時間的な制約に耐えることも必要であり、これらは必ず、この先の人生で試され、体験的に発揮されることになります。卒業証書の「中学校の課程を修了する」は、教科学習内容の理解だけでなく、中学校段階での基本的な人格の形成や生活習慣の確立を意味していると考えます。学校生活は、時間、人物、約束など学び中の制約において自己を鍛える不自由な環境が揃っています。ある意味「若いうちの苦勞」です。

中学校を卒業して待ち受ける社会は、人間力（とりわけ協働や思いやり、助け合いなど）が試されます。その基本にあるのは、挨拶が良い、人の話を聞くことができる、返事が良いことです。若いつきの苦勞には、日本の教育が目指す人間力を身に付ける意味が多く含まれていることを改めて自覚し、同時に義務教育の課程9年間を振り返り、「やり遂げた自信」を大切に、「やり遂げると強くなれる」を強く自覚してほしいです。

人生の時間は省略できず、途中で投げ出したり自分で決めたりすることもできません。嬉しさや楽しさだけでなく、悲しみや苦しみがあってもそれに耐え、自分の命を最後まで全うしないと いけません。そういう時間と付き合いのために、出会いや別れ、節目・転機があるように思います。

卒業観を、出会い、別れから偶然、必然、身につけたい力、自覚、決意から考えてみました。別れの後にやってくる新しい門出や出会いをどのような気持ちで迎えるのがいいのか。良くも悪くも自分次第です。それならば良いものにするのが、生きる上での使命と強く感じます。

3月15日(水)、山中から2人の生徒が卒業します。新しい出会いや希望を抱いて、力強く巣立ってほしいです。

### 栄養教室

1月27日(金)4校時に、長畑豊美栄養教諭を講師に招聘して栄養教室を行いました。はじめに、清涼飲料水に使用されている砂糖の量を実際に目で見て学び、その多さを実感しました。また、日々の食事やおやつの摂り方が生活習慣病と大きく関わっていることも学びました。その後、徳之島で生産されている野菜を教材として、野菜の名称やそれぞれの旬、栄養価についても学習しました。改めて食を見直す機会になりました。



### 山の幸学習（収穫）

2月9日(木)6校時に、山の幸学習で育てた野菜（ブロッコリ・ニンジン・ダイコン・キャベツ・ジャガイモ）を収穫しました。今年度も、徳之島町役場農林水産課の御指導と御協力のもと、生徒、職員が力を合わせて播種、苗の管理、畝づくり、追肥、培土、灌水、除草等に頑張ってきました。昨年よりもよく育った野菜をたくさん収穫できました。



### 山の幸学習（調理）

2月10日(金)5～6校時に、山の幸学習で収穫した野菜を使って、調理実習を行いました。メニューは、お好み焼きと豚汁で、3班で分担して調理しました。

全員が下ごしらえから調理まで一生懸命に取り組み、頑張って育てた野菜を美味しくいただきました。命あるものを育てる事の苦勞や貴さ、収穫の喜び、食への感謝の気持ちなどを感じることができました。とてもすばらしい体験になりました。



### 令和4年度 第2回

### 青少年育成推進委員会山校区地区会議 (兼 山校区水難事故防止連絡協議会)

2月16日(木)19時～20時、山公民館において、山校区の児童・生徒の安全確保を図るために、標記の会議を実施しました。

小・中学校の児童・生徒の学校内外での様子や樟南第二高等学校、徳之島高等学校の生徒の様子、山校区安全マップを活用した危険箇所の再確認など、子どもたちの健全育成を図るための意見交換や情報の共有ができました。



### キャリア教育

1月20日(金)5校時に、山小・中学校出身の麻生敏幸氏を講師にお迎えして、小・中学校合同の「キャリア教育講演会」をオンラインで実施しました。

麻生さんは、錦江湾高校から防衛大学に進み、卒業後、陸上自衛隊に入隊され、現在はオランダの日本大使館に勤務されています。講演では、オランダの自然や文化の紹介、現在の職務内容など、多岐にわたって興味深い話をしてくださいました。当日は山小・中学校時代の同級生である保護者も参加され、終始、和やかな雰囲気であつという間に時間が過ぎました。母校の先輩が、国境を越えて海外で活躍されていることに、中学生にとって大きな夢や希望を与えていただいた講演会になりました。



### <3月の主な行事>

- 3月 2日(木) ハイビスカス号
- 3月 2日(木)・3日(金) 公立高等学校入学者選抜者学力試験
- 3月 8日(金) 生徒会レクリエーション(6校時)
- 3月 12日(日) ボランティア清掃
- 3月 13日(月) 卒業式予行
- 3月 14日(火) 第75回卒業式
- 3月 24日(金) 修了式・辞任式

